

## アクティブラーニング推進3年目の目標とこれまでのあゆみ

アクティブラーニング推進委員  
ユニットリーダー長 福田周作

年間テーマ

「AL推進活動の自立化・日常化」

ユニット会議のあり方

「授業のエネルギーを大きくする場」でありたい。

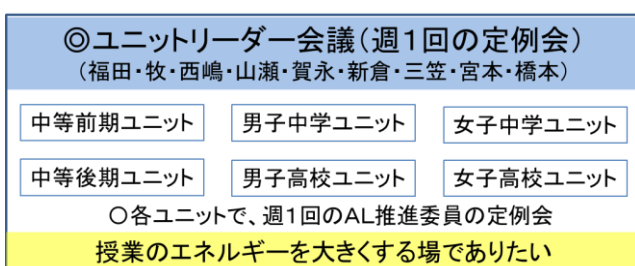
そのために

…①会議を「授業について話す」研修の場に。

②会議の時間を使って、授業見学と振り返り。→「具体的な引き出し」を得る。

③各教科の見方・考え方をお互い知ることでカリキュラムを考える。

※AL推進委員組織図



※年間行程表(別表①)

※ユニットリーダー会議の各回議案(別表②)

※授業見学受け入れの記録(別表③)

※各部署ユニット会議の記録(別表④)

### I. おもな議題

- (1) AL公開研究会について
- (2) 「振り返り」の実践と共有
- (3) ワークショップ型の話し合い
- (4) 授業の工夫～AL型授業のための秩序形成、環境づくりのための実践と共有
- (5) 「活用問題」の実践と共有～「考査における活用問題」と「ルーブリック」の研究
- (6) 備品の整備

### II. 今後の課題

## I. おもな議題

### (1) AL公開研究会について

#### ※<sub>1</sub>「モデル授業」「提案のある授業」

- ①「個→協働（AL）→個」の流れ。「目標の共有」と「振り返り」。
- ②教科で授業デザインを練る中で、実験的・挑戦的なテーマ（活用Ⅱ）やAL手法の提案を目指したい。

#### ※<sub>2</sub>ライブだからこそ得られるもの＝「双方向性」「場の共有」

- ①授業前に、授業者と参観者で「目標の共有」。
- ②授業後、生徒全員に残ってもらい、学びのポイントなどを確認する機会を設ける。
- ③授業後の振り返りの時間をしっかり確保。参観者を4名程度の小グループに分け、ワークショップで参加型に。

#### ※<sub>3</sub>公開授業は、教科で作り上げる。内部教員向けの研修の機会も、確保する。

- ①本校教員のでできれば全員が、プレ授業／模擬授業へ参加し、研究協議を通して授業づくりに関わってもらおう。  
「自分が授業づくりにコミットした授業」として、公開授業を参観し、振り返ること。

### (2) 「振り返り」の実践と共有～桐蔭学園の「モデル授業」実践を確かなものに。

#### ※<sub>1</sub>授業の冒頭に「本時の目標」を「教員と生徒で共有する」。

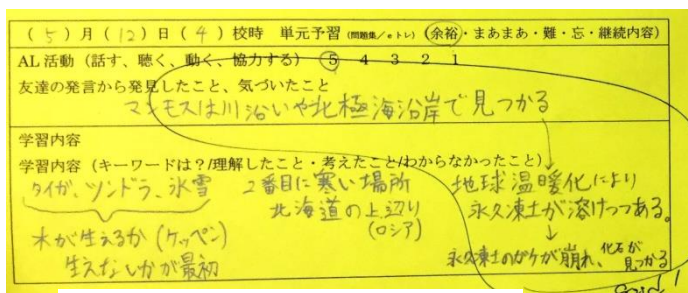
#### ※<sub>2</sub>授業の終わりの数分間で、「振り返り」を行う。

#### ※<sub>3</sub>「個」→「協働（AL）」→「個」、という基本的な授業スタイルをすべての教科、すべての時間に。 ＝毎回の授業の20%（＝10分）、ALを取り入れる。

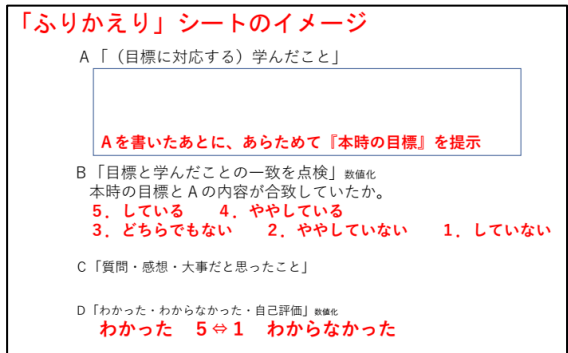
・よりよいAL型授業を目指して、特に「振り返り」について、実践例の共有、意見交換を各ユニットで行う。

・第2回AL推進委員全体会（5/24）で、佐藤衆氏による実践報告。生徒アンケートと『教員のためのリフレクション・ワークブック 往還する理論と実践』（武田信子編著 2016. 学事出版）を基に。

→「リフレクション」は、特に重要な資質・能力。単なる振り返りや反省とは異なる。「内容目標」（知識・技能、思考力・判断力・表現力）と「態度目標」（主体性・多様性・協働性）への振り返りの提言。生徒からは「思考が整理される」「目的をもって受ける授業になる」といった意見。



中等2年地理（福田）振り返りシート



高2物理（佐藤衆氏）振り返りシート（案）

※「振り返りシート」は、各教科、各教員が試行錯誤を繰り返し、より良いものに改良しています。

### (3) ワークショップ型の話し合い

ユニットリーダー会議や各ユニット会議でもワークショップ型の話し合いの実践をしています。

発言機会の乏しい会議は、思考が停止し、眠くなる。10名では遠慮がちな議論（あるいは、数名が話し続け、他は聞いているだけの議論）が、5人だと話すチャンスが生まれる。また、グループによって、主に考えているポイントが違い、多様性が生まれ、結果的に気づきも大きくなる。

「認知プロセスの外化」の重要性は、生徒だけでなく、会議に参加する教員も同じ。意味の咀嚼のためには、語りなおして自分の言葉にすることが大切。

→AL公開研究会でも、授業後の研究協議はワークショップ型で実施します。



### (4) 授業の工夫～AL型授業のための秩序形成、環境づくりのための工夫の共有、実践

授業を受ける姿勢、ALにうまく参加できない生徒への対応について、各ユニットで悩みや工夫を共有しました。

男子中学・中等前期では、AL型授業を導入して課題になっているのが、授業秩序の再構築です。これまで、生徒が勝手なおしゃべりや立ち歩きをして、收拾がつかなくなってしまうのは、書道や美術、家庭科など実技をとまなう授業にみられる課題でした。中等前期では、そのような授業に学年教員が立ち会って秩序を維持するような対策を行ってきました。ところが、AL型授業の本格導入後は、英数国理社の授業でも、生徒の勝手な動きに対して收拾がつかなくなることが増えました。グループ活動など、生徒活動を中心とした授業展開には、それに対応した環境づくりや指示を出すスキルが必要なのですが、一方的な講義形式で授業をしてきた教員にとって、その環境づくりやスキルを習得する機会、乏しいものだった故に、試行錯誤の繰り返しで、産みの苦しみの中にあると言えます。

中学、中等前期ユニットでは、体育小倉氏の中1ダンス授業を参観し、気がついたことを意見交換しました。例えば、教員が終始ニコニコしていて、楽しく安心した雰囲気があること。友達の演技（ダンス）を見ているときに座っている姿勢が崩れると、そこを見逃さず、「背中で座らない」「おなかで座らない」などとユーモアを交えながら、授業の規律をしっかりと伝えていく姿勢。生徒への指示は丁寧語を使う（乱暴な言葉は一切なし）。言葉のリズムに緩急をつけた指示。「友だちに演技をみてもらおう」ことで「他人に見られている」意識が強く働くなかでの効果的な練習など。



AL型授業での学びに向かう環境づくり（あたたかい雰囲気と秩序維持）については、今後もワークショップ等で実践例の共有を図っていく必要を強く感じています。

### (5) 「活用問題」の実践と共有～「考査における活用問題」と「ルーブリック」の研究

「活用問題」に対する理解の幅が大きい状態で、新年度をスタートしました。「概念的でよくわからないモヤモヤした状態」を解消するために、①AL推進委員全体会（5/24）で福田が寺井氏の生物授業を例に解説し、②活用問題の昨年度実践例をもとに各ユニット会議で意見交換、③各ユニット会議や各教科会で、定期考査に出題した活用Ⅰ、活用Ⅱとルーブリック例の実践報告を行いました。また、④教務・橋本氏主催の「活用問題カフェ」（9/9）では、活用問題とパフォーマンス課題についてレクチャー、およびワークショップ型での実践例の報告と検討を行い、理解を深めました（参加者は、各教科5～6名）。

この先も、「探究」に向かうための「活用Ⅱ」、パフォーマンス課題としての「活用Ⅱ」の位置づけについて、「本質的な問い」、「永続的な理解」といったキーワードとともに発信していく必要を感じています。

### (6) 備品の整備

- ・「授業を受ける姿勢」ポスターの貼り換え（170枚）
- ・まなボード用マーカー、スポンジ収納小袋・カゴの各教室への配備（¥22,680：バスケット160個、ジップロック小袋（35枚入り）×50）
- ・まなボードフィルム修繕（無償）
- ・まなボード用マーカーの補充



## II. 今後の課題

※<sub>1</sub>学園の掲げる3つの柱（①AL型授業、②探究、③キャリア教育）の相互作用が高まるようなワークショップの計画。

公開研究会をベースにしたAL型授業づくりワークショップ

児美川先生の講演をうけて、ALとキャリア教育の結びつきについて「自らの経験をもとに、語りなおす」ワークショップの計画（橋本氏、関谷氏、一蝶氏と共同企画の予定）。

「カリキュラム」を広い視野で統合する。各教科の大切にしている「見方・考え方」、「本質的な理解」の例などを互いに知り、「探究」に結びつけるような、カリキュラムマネジメントワークショップの計画。

※<sub>2</sub>AL型授業における活用問題・パフォーマンス課題を学園全体としてどのように導入し、成績評価にどのように組み込むか？ また、形成的評価のための、ルーブリックのさらなる研究を進める。

※<sub>3</sub>各教科科目のパフォーマンス課題について、生徒個人のポートフォリオ構成をどのように進めていくか？

【別表①】年間行程表

			公開研究会に向けて	日常的な活動	
4月	1週	入学式		各教科の実践報告会「〇〇カフェ」 校内研修のバックアップ	
	2週	授業開始		目標の共有。会議のエネルギーを大きくしましょう。	
	3週		公開研究会の方向性、理念、大きな物語の共有	ALの基礎的知識の共有。AL通信をベースに。	
	4週		公開研究会の方向性、理念、大きな物語の共有	シラバスの検討、振り返りシートの検討	
5月	1週	連休		活用Ⅰ、活用Ⅱ、探究とは？	
	2週			授業見学とワークショップ AL技法の紹介	
	3週		<small>(振り返りまで時間があてしまつたら、)ビデオ撮影して、「動画をしながらが有効</small>	授業見学とワークショップ AL技法の紹介	
	4週	考査前	全体会で公開研究会の方向性の確認	考査における活用問題の検討 「探究」にどう接続する？	
6月	5週 1週	考査	教務主催のAL研修の予定→7/18へ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     活用Ⅱとは？                      各自が、活用                      Ⅱに主眼にお                      いた授業案の                      検討                 </div>	
	2週	考査			授業秩序形成のための工夫の共有と実践
	3週		公開研究会の担当者を決める		活用問題に対する生徒答案の検討
	4週		公開研究会の補助教員を決める		授業見学とワークショップ
7月	5週 1週	アチーブ	公開研究会プログラムHPアップ	児美川先生のキャリア教育論勉強会。	
	2週		公開研究会の授業のテーマの検討。 授業のエネルギーを大きく。	キャリア教育観。各教科はどのように結びついているのか。	
	3週		その授業で本当にやりたいことは？ 一番伝えたい事	教務主催の研究授業(7/18)	
	4週	夏期研修	生徒にどうなっていてほしい？		
	5週	夏期研修	7/20、授業タイトル(仮)をHPアップ。		
8月	1週	校舎閉鎖		※ワークショップとは…少人数、体験型の勉強会	
	2週	校舎閉鎖			
	3週	校舎閉鎖	公開研究会申し込みフォームの作成		
	4週	夏期研修	公開研究会申し込み開始(9/1)		
9月	5週 1週	夏期研修	公開研究会のバックアップ。教材やデザインシートの検討		
	2週	考査前	全体会で、デザインシート、実践報告、活用問題集の相互点検	活用問題カフェ(9/9)	
	3週	考査	(9/4)		
	4週	文化祭			
	5週	代休			
10月	1週		公開研究会に向けて、プレ授業／模擬授業と研究協議	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     全体会、ワークショップチームの事前説明会など                 </div>	
	2週		公開研究会に向けて、授業の課題や疑問などの意見交換		
	3週		公開研究会のバックアップ。当日の動きの確認。		
	4週		10/28公開研究会		
	5週 1週		公開研究会の振り返り		後半の目標「そもそも…、目指す生徒像を考えましょう」
11月	2週		公開研究会の振り返り	後半の目標 前半の活動をどう生かすか？	
	3週			校内ワークショップ計画 ALとキャリア教育の結びつき	
	4週			校内ワークショップの実施、振り返り	
	5週 1週	考査		考査における活用問題の検討	
	12月	2週	考査		
3週					
4週				各教科の実践報告会「〇〇カフェ」活用問題	
5週		冬期研修			
1月		1週	冬期研修		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     活用問題・パフォーマンス課題を、成績評価にどのように組み込むか？                       形成的評価としてのルーブリック活用を考える。                       総括的評価の中に、パフォーマンス課題をどのように組み込むか？                 </div>
	2週	キャンプ等			
	3週		今年の実践を来年度にどう生かすか？		
	4週		次年度に向けて 授業見学		
	5週 1週		次年度に向けて 授業見学		
2月	2週		次年度に向けて		
	3週		振り返り。各ユニットのまとめ		
	4週		振り返り。各ユニットのまとめ		
	5週 1週	考査			
	3月	2週	考査		
3週				各教科の実践報告会「〇〇カフェ」 校内研修のバックアップ	
4週					
5週		春期研修			

**【別表②】** ユニットリーダー会議の各回議案（提案）

第1回	①担当教科の醍醐味は？ 教科を通して、生徒にどのような人間になってほしいのか？→「傾聴」と「承認」をまずは教員から。②年間イメージの共有 ③メンバーからの意見
第2回	①公開研究会を山にしつつも、1年間でどのような、生徒の成長、授業の向上、教員組織の向上があるのか、大きな物語を。②AL通信をベースに意見交換、「AL通信でききたい事、発信したい事」
第3回	①振り返りシートの見せ合い。②授業の工夫の紹介しあい。教科会の動きとリンクさせよう。
第4回	①活用Ⅰ、活用Ⅱ、探究の定義の確認。意見交換。自分で（テスト問題として、授業課題として）作ってみる。公開研究会冊子（2016）巻末参照。
第5回	①授業見学と振り返り。
第6回	②考査における活用問題の検討
第7回	①授業秩序維持のための工夫（例えば、小倉さんの中1体育（ダンス）授業を見学（あるいは、動画をみながら）の上、「教員のふるまい」や「声掛け」などを考える研修を各ユニットで行う。
第8回	②考査における活用問題の振り返り。
第9回	授業における「活用Ⅱ」。そもそも活用Ⅱとは。授業の「おいしいところ」はどこ？そこをどうやって生徒に委ねていったらいい？
第10回	キャリア教育に関する、児美川先生の文章を読んで、意見交換。
第11回	公開授業担当者に、授業の構想を話してもらい、「おもしろいところ」を共有して、エネルギーを大きく。
第12回	公開授業担当者のデザインシートなど、検討。

**【別表③】** 授業見学受け入れの記録（2017年4月～7月）

5/15（月）	愛知県立津島高校
5/18（木）	徳島県立脇町高校
6/13（火）	福島県私立中学高等学校協会
6/16（金）	タンザニア国、キリマンジャロの会さくら女子中学校
6/20（火）	東京都立成瀬高校
6/22（木）	京都 花園学園中学高等学校
7/4（火）	広島県福山市立福山高校 大阪 帝塚山学院泉ヶ丘中学高等学校
7/7（金）	埼玉県立総合教育センター

ご来校ありがとうございました。

【別表④】各ユニット会議の記録（4月第2週～9月第1週）

中等前期	
日付	内容
4月14日	個人の目標と授業の醍醐味
4月21日	公開研究会の方向性や理念について
4月28日	公開研究会についてとふり返しシートの紹介
5月12日	実践しているALの工夫を紹介
5月19日	授業紹介とふり返し
6月9日	公開研究会についてとグループワーク時の「沈黙・違う話をしてしまう生徒」の対応 中間考査で出題した活用問題の共有と意見交換①
6月16日	中間考査で出題した活用問題の共有と意見交換②とALについての提案
6月23日	公開授業までの流れについてと授業における活用Ⅱとは何かについて
6月30日	授業見学
7月7日	公開授業と夏期課題についてと授業見学のふり返し共有
7月14日	公開研究授業担当者の授業案共有
9月1日	公開研究会授業担当者のデザインシート共有・確認

中学男子	
日付	内容
4月10日	顔合わせ。今年度の活動予定について。
4月17日	公開研究会の概要説明、ALのポスター掲示について。
4月24日	昨年度の公開研究会に対する総括および今年度への要望。5月6日の保護者授業参観について。
5月1日	公開研究会について。振り返りシートの共有化について。
5月8日	公開研究会について。5月6日の保護者授業参観の振り返り。
5月15日	5月24日のAL推進員全体会について。まなボードの活用事例および補修について。
5月22日	AL型授業の要素の確認。(個⇒協働⇒個、目標の明示と振り返りなど)
6月12日	体育小倉氏の授業参観の推奨。活用Ⅰ、活用Ⅱ、探究の定義の確認。第66回大学入試懇談会（数学）に参加した古賀氏による概要報告。
6月19日	公開研究会について。他校から本校のAL型授業見学の状況について。
7月3日	公開研究会の冊子について。(デザインシート、実践報告、昨年度の総括など)
7月10日	公開研究会の準備日程について。桐蔭AL通信(第2号 男子中担当)に、原田氏の実践報告を掲載することについて。
9月4日	公開研究会の準備日程について。本日の、AL委員全体会について。9日(土)の活用問題カフェについて。

中学女子	
日付	内容
4月13日	まなボードの確認。「姿勢」ポスター、AL通信のあり方について確認。公開研究会について。
4月20日	振り返りシートについて、女子高の国語科のシート紹介。まなボードのペン入れについて、中2方式の紹介。
4月27日	AL内部研修について。振り返りシートを持ち寄って、利点と現在の課題について意見交換。
5月11日	姿勢のポスター掲示報告。7/18のAL研修会概要説明。定期考査で出題した活用Ⅱ問題の紹介。
5月18日	各グループに分かれて授業参観。
5月25日	「活用Ⅰ・活用Ⅱ・探究」を考査に盛り込む件について。
6月8日	考査での活用問題出題の実践例について意見交換。
6月15日	公開研究会授業後の質疑応答の問題点について意見交換。タンザニアからの学校訪問について概要説明。
6月22日	タンザニアの中学生の本校訪問について報告。振り返りシートについて意見交換。
6月29日	女子中担当AL通信9月号の内容について検討。公開研究会で配付する冊子掲載資料について説明。
7月6日	7/18の研究授業についての確認。父母会クラス懇談時のワークショップ報告。運動会応援団振り返りの会報告。
8月31日	9/9の活用問題カフェについて連絡。9/4の第3回AL推進員全体会についての確認。
9月7日	AL通信(女子中担当)の内容について確認。9/9の活用問題カフェ参加者・場所等の確認。

中等後期	
日付	内容
4月6日	1年間の流れの確認 1分間スピーチについて AL委員の目標宣言
4月13日	ユニット会議で扱ってほしいこと
4月20日	振り返り(リフレクション)について 授業で取り入れてうまくいったこと・いかなかったことについて
5月11日	4グループに分かれて授業見学
5月18日	前の週で見学した授業について意見交換 活用問題について資料の紹介
5月25日	考査に出題する予定・以前出題したことがある活用問題の紹介
6月8日	考査で出題した活用問題とその結果の紹介 公開研究会後の生徒質疑応答について
6月15日	3人がAL技法紹介①
6月22日	3人がAL技法紹介②
6月29日	3人がAL技法紹介③
7月6日	3人がAL技法紹介④
7月13日	尻美川先生の本を読んで意見交換 公開研究会授業担当者の授業案紹介
8月31日	公開研究会授業担当者の授業デザインシート確認

高校男子	
日付	内容
4月11日	年間の活動予定。委員各自のAL型授業や委員としての活動への思いを発表。
4月18日	まなボード等の備品整備について。ALをどのように推進していくのか。
5月2日	新委員より、どんなAL型授業を考え、どのような点で困っているのかを発表①。
5月9日	新委員より、どんなAL型授業を考え、どのような点で困っているのかを発表②。
5月22日	まなボードの使い方や使用頻度についての情報交換。ジグソー法についての情報交換。
6月13日	AL委員とそうでない教員の間に溝はあるのか、について意見交換。
6月20日	公開研究会について、授業後のワークショップの形態についての意見交換。
6月27日	活用問題とはどのようなものかという発問、意見交換。
7月4日	活用問題とはどのようなものかについて、実例を持ち寄っての意見交換①。
7月11日	活用問題とはどのようなものかについて、実例を持ち寄っての意見交換②。
7月18日	公開研究会、授業担当者の構想を聞き、検討。
8月29日	公開研究会に向けた資料準備の内容確認。
9月5日	数学科活用問題研修会(学内実施)の報告。

高校女子	
日付	内容
4月10日	顔合わせ。今年度の活動予定について。
4月17日	公開研究会の概要説明。ALのポスター掲示について。
4月24日	公開研究会のあり方について。AL通信について。
5月1日	内部向け研修について。ふりかえりシートについて。
5月8日	DVD視聴によるアクティブラーニング型授業の研究。
5月15日	内部向け研修について。活用・探究についての意見交換。
6月12日	公開研究会についての伝達。
6月19日	公開研究会のサポート教員についての伝達。活用問題について各教科で意見交換。
7月3日	公開研究会について。プリントをもとにキャリア教育についての意見交換。
7月10日	公開研究会についての伝達。